

小野市議会だより

2026. 2
No. 220



長きにわたり地域を見
守るよう、旧曾根小学校の石
柱が今も曾根町公民館前に建ってい
ます。伝統と歴史を誇る曾根校の校章
が曾根町の町章として制定され、公民館
の壁面に輝いています。地域住民の心の
ふるさととして子孫に敬愛されること
を祈念されたとおり、次の世代へ
と継承され、郷土を愛する心
を育んでいます。

曾根町公民館（旧曾根小学校跡）

きてみて〇〇市議会本会議

～小野市の未来をともに考えよう～

令和7年12月定例会では、27日間にわたり、本会議や委員会で18件の議案を審議・審査。議案内容などについて市長はじめ執行機関に説明を求め、議決をしました。また、一般質問では2日間にわたり12人の議員が市政全般（行政の運営状況や将来の方針、住民生活に関わる課題など）について質問しました。

今回は特集として
12月定例会の流れをご紹介します。



第456回 定例会

(11月27日～12月23日)

市長提出議案：18件

(補正予算8件・条例改正6件・人事2件・その他2件)

一般会計補正予算第3号（議案第48号）

小野八ヶ池自然公園を大規模改修

開園から19年が経過し、経年劣化が進んでいます。安全安心な施設への改修工事を行います。地域防災拠点であることから、マンホールトイレなどの新たな防災施設を整備します。

審議議案の中から PICK UP!!

- 事業内容 園路広場改修工事（屋外コート、多目的コート）、多目的ドーム改修工事、遊具更新工事、防災施設整備工事。
 - 全体事業費 2億2,000万円（うち防衛省補助金1億4,666万円）
 - 令和7年度事業費 1,294万円（うち防衛省補助金862万円）
- 令和7年度は、実施設計を行います。



ハケ池自然公園(河合中町)

一般会計補正予算第3号（議案第48号）

刈草等の堆肥化に取り組みます

現在、年間約900トン発生している刈草や剪定枝はクリーンセンターで焼却していますが、「ごみ」を「資源」と捉え、刈草等を堆肥にリサイクルする事業を令和8年度から開始します。

そのため、一般廃棄物最終処分場に隣接する市有地を刈草等の置場として整備します。堆肥の一部を市のガーデニング事業に活用することで、市内における資源の循環利用を推進します。本取組により、小野市のリサイクル率は大幅に上昇する見込みです。

- 事業費 1,295万円
- 小野市火災予防条例の改正について**
- （議案第51号）

全国的に林野火災が増加し、規模が拡大して大きな被害を与えています。実効性のある林野火災の予防を目的として、市長が火の使用制限の努力義務を課す注意報を発令したり、火の使用制限の区域を指定できるようになります。状況によっては畔焼き等の中止もでき等を行う場合も消防署への事前連絡が必要です。

一般会計補正予算第5号（議案第65号）

第7弾おの恋らつきやプレミアム商品券が販売されます

物価高騰が続くなか、市民の生活支援と市内での消費喚起による市内事業者の活性化を図る経済対策として、昨年度に引き続きプレミアム率50%の「おの恋らつきやプレミアム商品券」が販売されます。

- 事業費 3億3,300万円（国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用）
- 対象者 令和8年2月1日時点で小野市に住民票がある方
- 販売内容 1万5千円分の商品券を1万円で販売（地域利用券6千円、共通券9千円）
- 予約方法 小野市公式LINEまたはハガキ
- 予約期間 ※LINEからの予約の場合、市公式LINEアカウントの友達追加が必要です。
- 購入期間 令和8年2月2日(月)～2月28日(土)
- 利用期間 令和8年3月25日(水)～9月23日(水)
- 販売場所 小野市伝統産業会館または郵便局
- 問い合わせ先 産業創造課商工振興係
☎ 0794-7017137
購入期間と同じ



予約申込は
こちら

提出議案と審議結果



★全会一致で可決・同意した議案

区分	議案番号	議 案 名
補 正 予 算	第48号	令和7年度小野市一般会計補正予算（第3号）
	第56号	令和7年度小野市一般会計補正予算（第4号）
	第57号	令和7年度小野市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
	第58号	令和7年度小野市介護保険特別会計補正予算（第2号）
	第59号	令和7年度小野市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
	第60号	令和7年度小野市水道事業会計補正予算（第2号）
	第61号	令和7年度小野市下水道事業会計補正予算（第2号）
	第65号	令和7年度小野市一般会計補正予算（第5号）

条 例	第49号	小野市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	第50号	小野市火入れに関する条例の一部を改正する条例の制定について
	第51号	小野市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について
	第62号	一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について
	第63号	特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

人 事	第54号	小野市公平委員会委員の選任について 小野市中谷町 松井 誠氏
	第55号	小野市固定資産評価審査委員会委員の選任について 西宮市泉町 小林 典代氏

そ の 他	第52号	小野市学習等公用施設（コミュニティ公用施設）の管理に係る指定管理者の指定について
	第53号	市道4309号線道路改良工事に伴う池の下踏切道拡幅工事に関する基本協定の変更について

★賛否が分かれた議案と審議結果

議案名等			会派名 議員名	議決結果			おの未来団		市民クラブ		創生おの		公明党		躍進の会		無会派	無会派	無会派	無会派				
条例	第64号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について		可決	11	4	賛成	反対	前田昌宏	掘井ひさ代	山本麻貴子	小林千津子	河島三奈	前田光教	山本悟朗	平田真実	川名善三	村本洋子	河島信行	安達哲郎	宮脇健一	藤原章	喜始真吾	高坂純子
							○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	●	●	●	●	○	○

* 平田真実議員は、議長のため表決権はありません。

賛成=○ 反対=●

ここが聞きたい一般質問!!

(一般質問は発言した議員が編集しました)



市民のみなさまの生活に
関わることについて、
12人の議員が
一般質問を行いました。

●一般質問とは……

市政全般にわたり、執行機関（市長）に対し事務の執行状況や将来における政策方針等について議員が質問し、市長や部長等が答弁します。

また、小野市では、市長から提出された議案についても一般質問することができます。

●質問テーマは？

1. 質問する内容は、議案とは関係なく議員個人が自由に決めています。
2. 議員個人が自分なりの問題意識を市政に問い合わせ、市の見解を求める。

●質問の制限時間は？

1人あたりの制限時間は40分です。（答弁は含みません）



《一般質問をスマホ・タブレットで視聴できます！》

各議員の顔写真の下のQRコードをスマートフォンなどで読み取ると、
その議員の一般質問などの動画をご覧いただけます。

認知症の早期発見について

答弁 「もの忘れ検診」の周知を行う

小林千津子 議員（市民クラブ）



質問 アルツハイマー型認知症の新薬2種類が保険適用になり、医療機関での使用が進んでいる。この新薬は、認知症の軽い症状の期間を引き延ばす薬であるため、早期発見が極めて重要であり、「もの忘れ検診」の周知及び啓発はどうのようにされているのか。

答弁 「もの忘れ検診」は、令和2年度より早期発見と認知症本人及び家族等の早期支援を行うため開始した。比較的若い高齢者からの申請も増加し、検診の受診者は、令和6年度で85人と年々増加傾向にある。今後も認知症の早期発見、早期対応につながるよう医療機関や関係機関と連携し周知を行っていく。（市当局）

質問 認知症サポートの養成について

答弁 受講した。また、市内全小学校の4年生約400名を対象に毎年認知症キッズサポート養成講座を開催し、認知症について正しく知り、その気付きを家族と共有し地域に広めることを目的としている。（市当局）

給食費無償化について

質問 次年度より、公立小学校を対象に保護者の所得に関わらず給食費無償化に向けて検討に入つたと新聞報道があったが、当局の考え方を問う。

市民後見人制度の活用促進について

答弁 活用促進に向け、市民や関係機関に周知する

川名善三 議員（公明党）



質問 市民後見人制度の活用に向けた市の取組は。

答弁 市では、相談窓口として「地域包括支援センター」や「障がい者基幹相談支援センター」で行っているが、本年4月から新たに「小野市成年後見サポート室」を設置。市民後見人制度を含めた成年後見制度の利用促進に向けて、市民や介護・福祉・金融機関などの各関係機関に対し、さらなる周知を行っていく。（市当局）

成年後見人等送付先住所変更の一括手続について

質問 利用者の手続負担の軽減と行政事務の効率化が見込めるが、導入に向けた検討は。

答弁 現在、今年度開設した「成年後見サポート室」では、各種サポートを行っているが、成年後見人等の

事務負担を軽減し、適切な後見事務に繋がるよう、一括手続きシステムを構築し、令和8年1月から開始する。（市当局）

算数障害について

質問 算数障害が疑われる児童生徒へは、どのように対応されているのか。

答弁 算数障害（ディスカリキュリア）が疑われる児童生徒への対応については、早期発見と年齢に応じた適切な支援が重要である。市では、5歳児発達相談事業や教育相談等により、数概念や読み書きの困難などを含む発達障害を早期に把握し、小学校入学時から適切な支援ができるよう、丁寧な引継ぎにより、就学前から切れ目のない支援を実施している。（市当局）

物価高騰対策について

答弁 プレミアム率50%の商品券を発行する

質問 市民が物価高騰に苦しむ今だからこそ、過去の実績も鑑み、新たな緊急支援策として、プレミアム率30%の「おの恋らつきやプレミアム商品券」を発行し、さらに全世帯に一律5,000円の「おこめ券」の配布を提案することについて、当局の考えを伺う。

答弁 第7弾となる「おの恋らつきやプレミアム商品券（プレミアム率50%）」を発行する。既に市民の方は使い慣れており、プレミアム率を乗せた購入型の商品券とすることでも、地域経済活性化に寄与すると見込まれる。なお、商品券でお米を購入することも可能なため、おこめ券の配布は考えていない。（市当局）

答弁 発行の時期は、令和7年度末（令和8年3月末）までに実施する。（市長）

質問 「白雲谷温泉ゆびか」の駐車場の外灯の増設について

答弁 現在、外灯10基を設置してお

り、適宜、設備の更新やLED機器への交換等を行い、駐車場法で定め照度を満たしている。「白雲谷温泉ゆびか」は、市内外から年間約30万人、累計720万人を超える来館者をお迎えし、「自然との調和」や「四季折々の彩り」、「重厚感」など

を満喫いただき、好評を得ている。これから、駐車場の外灯の増設及び温泉の玄関口を明るくすることにつけては、現在のところ考えていない。（市当局）

河島信行 議員（躍進の会）

質問 「白雲谷温泉ゆびか」の駐車場の外灯の増設について

答弁 現在、外灯10基を設置してお

り、適宜、設備の更新やLED機器への交換等を行い、駐車場法で定め照度を満たしている。「白雲谷温泉ゆびか」は、市内外から年間約30万人、累計720万人を超える来館者をお迎えし、「自然との調和」や「四季折々の彩り」、「重厚感」など

を満喫いただき、好評を得ている。これから、駐車場の外灯の増設及び温泉の玄関口を明るくすることにつけては、現在のところ考えていない。（市当局）



各議員の顔写真の下のQRコードをスマートフォンなどで読み取ると、その議員の一般質問などの動画をご覧いただけます。



答弁 昨年度は養成講座を6回開催、高校生を含め約200名の方が

答弁 昨年度は養成講座を6回開催、高校生を含め約200名の方が

答弁 学校給食法の理念を尊重した上で国の方針に沿った対応を行い、小学校については次年度より給食費無償化を実施する。一方で、中学校については今後の対象範囲拡大の対応を行い、安全安心な学校給食を提供していく。（市当局）

答弁 現在、今年度開設した「成年後見サポート室」では、各種サポートを行っているが、成年後見人等の

各議員の顔写真の下のQRコードをスマートフォンなどで読み取ると、その議員の一般質問などの動画をご覧いただけます。

万が一に備えた熊対策について！

答弁 県、警察等関係機関と協議を図り、対応していく



質問 全国で相次いでいる熊被害について、小野市でも数件熊と思われる目撃情報があるが、小野市の現状について問う。

答弁 目撃情報に対して、足跡や痕跡写真を兵庫県森林動物研究センターに確認を依頼したところ、熊と断定できる情報はなかった。総合的に判断すると、熊が出没した可能性は極めて低い。

答弁 平成27年度から、狩猟免許取得の補助制度を開始している。ここ数年では、毎年4、5名の方が狩猟免許を取得している。ホームページや防護柵設置の説明会等で周知を行い、狩猟免許取得の促進をしていく。

答弁 兵庫県および警察署等関係機関と協議を図りながら「緊急銃猟対応マニュアル（仮称）」の作成から進めていきたい。（市当局）

質問 狩猟免許を持った方の高齢化が進んでいる。新たな人材確保に向かっての鳥獣対策を問う。

答弁 兵庫県および警察署等関係機関と協議を図りながら「緊急銃猟対応マニュアル（仮称）」の作成から進めていきたい。（市当局）

前田光教議員（市民クラブ）

QRコード


らつきやで 物価高騰対策も！

答弁 プレミアム率50%の商品券を6万冊発行！

物価高騰対策（重点支援地方交付金）について

質問 物価高騰対策、交付金と市の財政支援の考え方を問う。

答弁 令和7年12月11日時点での、国からの交付財源規模は示されていないが、第7弾「おの恋らつきやプレミアム商品券」を6万冊発行する。既に市民には周知の商品券で使い慣れており、地域循環型商品券として地域内でお金が流通し、地域経済への波及効果が見込まれる。第6弾までの発行総額は約29億円で、今回は9億円となり、経済効果を期待する。（市当局・市長）

質問 救急搬送とは異なる、気による119通報、関係部署との情報共有は？また、はしご車や通信システムの共用について問う。

消防活動について

質問 小野市でも数件熊と思われる目撃情報があるが、小野市の現状について問う。

「こども誰でも通園制度」開始！

答弁 令和8年度の事業開始に向け準備を行っていく

村本洋子議員（公明党）



質問 従来の「一時預かり」と「ども誰でも通園制度」の違いや併用について

答弁 「一時預かり」は、保護者の立場からの必要性に対応するもので、日額2,500円、半日1,250円で利用上限はなく、未就園児を持つ家庭が利用できる。「こども誰でも通園制度」は、保護者のために預かるものではなく、家庭にいるだけでは得られない様々な経験を通じて子どもが成長していくようにと、子どもの育ちを応援することが主な目的である。1時間300円で、月10時間を上限に、0歳6か月から満3歳未満の未就園児が利用できる。併用も可能なため、選択肢が増えることとなり、子育て支援の環境整備が進むと考えている。（市長）

質問 支援の必要な子どもの受け入れについて

答弁 利用開始前の事前面談で各施設の事業参加意向がある。各園の定員は11人ずつの予定。利用時間は月10時間を上限に1時間単位で利用でき、平日の9時から15時を予定してある。利用者は、スマホ等で他市町の事業所への申込みも可能な総合支援システムを利用する。（市当局）

質問 今後の予定等について

答弁 事業参加を募ったところ、亀鶴こども園と白百合こども園の2施設の事業参加意向がある。各園の定員は11人ずつの予定。利用時間は月10時間を上限に1時間単位で利用でき、平日の9時から15時を予定してある。利用者は、スマホ等で他市町の事業所への申込みも可能な総合支援システムを利用する。（市当局）

質問 今後の予定等について

答弁 事業参加を募ったところ、亀鶴こども園と白百合こども園の2施設の事業参加意向がある。各園の定員は11人ずつの予定。利用時間は月10時間を上限に1時間単位で利用でき、平日の9時から15時を予定してある。利用者は、スマホ等で他市町の事業所への申込みも可能な総合支援システムを利用する。（市当局）

前田昌宏議員（おの未来図）

QRコード


どう伸ばす 国保のがん検診

答弁 特定健診とがん検診をセット受診で無料化

質問 国保加入者ががん検診受診率を伸ばす取組は

答弁 検診による早期発見の重要性を町ぐるみ健診申込書の配布や広報の特集記事などで市民に啓発している。今年度新たな取組として、集団健診の申込者で大腸がん検診に申し込んだなかた方に検査キットを送付した。その結果、大腸がん検診受診者は昨年度と比較して560人増加し、2,567人となつた。

（市当局）

質問 がん検診の無料化はできないか

答弁 40歳から74歳の方を対象に、特定健診とがん検診をセットで全額助成する新たな事業を「国保ミニドック」と称し、来年度からの実施を計画しており、健診の習慣化につなげたい。（市当局）

質問 スマート鳥獣被害対策の推進について

質問 箱わなにイノシシ等が入ったことを通知するためのカメラや通報装置等のIT機器の必要性及び費用対効果を検討する必要があり、直ちにスマート化は考えていない。（市当局）

各議員の顔写真の下のQRコードをスマートフォンなどで読み取ると、その議員の一般質問などの動画をご覧いただけます。

各議員の顔写真の下のQRコードをスマートフォンなどで読み取ると、その議員の一般質問などの動画をご覧いただけます。



放課後等デイサービスの受入れ体制は

質問 概ねご家族のニーズを満たせる体制を確保

※放課後等デイサービスとは障がいを持つ児童生徒の療育を目的とする

質問 国からの通知では「やむを得ない理由の場合3か月の利用児童数の平均で130%以下かつ1日15人以下であれば、定員超過の減算をする必要はない」と明記している。利用者のニーズに応じて、受入れ定員を120%まで増やすことはできないか。

答弁 仮に、定員の120%の利用があったとしても、減算の対象にはならないが、県の指導があるということで理解を求めていくことになる。

(市当局)

くまでも療育としての制度設計となっている。子どもの預け先として捉えている保護者の方もおられるので、理解を求めていく。(市当局)

質問 本年10月30日に食品スーパー「マックスバリュ」の移動販売車が来住地区で試験運行を始めたが、今後の展開は?

質問 受入れ先がなかなか見つけにくいと聞く。障がい児にとって必要なサービスの利用ができるいるのか。

答弁 必要なサービスの提供はできている。放課後等デイサービスは

質問 受入れ先がなかなか見つけにくいと聞く。障がい児にとって必要なサービスの利用ができるいるのか。

答弁 自治会に積極的な利用を呼びかけるとともに、事業者とも密に連携を図っていきたい。事業者からは、要望のある自治会等には対応するよう調整すると聞いています。希望自治会には受入れ体制を整えて、事業を盛り上げていただくことが大切と考える。

(市当局)

各議員の顔写真の下のQRコードをスマートフォンなどで読み取ると、その議員の一般質問などの動画をご覧いただけます。

議会と市民との懇話会

一般質問を行う日の本会議の休憩中に、傍聴に来られた方が議会での一般質問や市政等について質問することができ、議員や市当局がその場で答える懇話会を実施しています。

傍聴に来られた方のみが体験できる時間ですので、ご覧になりたい方、参加したい方は是非議場にお越しください。

12月議会の懇話会の主なご質問

- 第7弾おのの恋らっきゃプレミアム商品券について
- 災害時の市との連携体制について
- 共同親権について



常任委員会審査報告

12月定例会の提出議案について、予算決算、総務文教、民生地域の各常任委員会を開催し、当局から細部にわたる説明を受け、慎重に審査しました。

《予算決算常任委員会》

12月18日、23日開催

付託議案数：8件（議案第48号、第56～61号、第65号）

審査結果：反対討論はなく、全会一致で可決すべきものと決定。

●主な審査内容

議案第48号 令和7年度小野市一般会計補正予算（第3号）について

八ヶ池自然公園のマンホールトイレの設置など防災機能を高める整備の内容について、また、道路台帳更新事業においては、道路網整備に伴い新たに県から市へ移管される道路等についてなど、詳細に確認を行いました。

議案第65号 令和7年度小野市一般会計補正予算（第5号）について

第7弾となる「おのの恋らっきゃプレミアム商品券事業」については、迅速な事業実施に向け、購入場所や購入方法及び発行枚数等の確認を行いました。

《総務文教常任委員会》

12月18日開催

付託議案数：6件（議案第49号、第51号、第52号、第62～64号）

審査結果：【議案第49号、第51号、第52号、第62号、第63号】反対討論はなく、全会一致で可決すべきものと決定。

【議案第64号】反対討論があったものの採決の結果、賛成多数をもって可決すべきものと決定。

●主な審査内容

議案第49号 小野市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について

刈草等の再生利用事業の実施にあたり、混乱を招くことが無いよう処理手数料の区分の確認を行うなど、各議案について多方面から確認を行いました。

《民生地域常任委員会》

12月18日開催

付託議案数：2件（議案第50号、第53号）

審査結果：反対討論はなく、全会一致で可決すべきものと決定。

●主な審査内容

議案第53号 市道4309号線道路改良工事に伴う池の下踏切道拡幅工事に関する基本協定の変更について

列車運休を伴う昼夜連続工事において、予定工事が早期に完了しバスの代替輸送費等が減額となったことを確認しました。

民生地域常任委員会視察報告

令和7年11月5日(水)～令和7年11月7日(金)

★シェア金沢について（社会福祉法人佛子園）



✓高齢者や障がい者、子どもや学生など、様々な世代や立場の人々が「人を分け隔てしない街づくり」を目指し、「ごちゃまぜ」となって、共に暮らし、交流することをコンセプトにした多世代共生型のコミュニティ。

単に生活の場を提供するだけでなく、居住者や利用者に「生きがい」や「役割」を与えていた。学生は高齢者から生活の知恵を学び、高齢者は学生に何かを教える「役割」を持つことで、社会的な孤立を防ぐよう取り組まれていた。

★スマート農業について（有限会社 安井ファーム）

✓ドローン等のICT技術を活用し、労働時間の削減と収穫量の増加により、収益性向上に繋がることを確認した。しかし、ロボットトラクター等の農業機械の導入は大区画でないと効率が悪いため、小野市の農地でどこまでできるかが課題であると感じた。

★福井県児童科学館（福井県坂井市）

✓施設の最大の特徴は「児童館（福祉）」と「科学館（教育）」が同一敷地・同一建物内で融合している点である。大型の屋内遊具（プレイザウルス等）を目的に来館した子どもたちが、自然な動線で科学展示ゾーンへと誘導される設計となっており、「遊びの延長線上に学びがある」環境が見事に構築されていた。

★ふく育県の子育て支援について（福井県庁）



✓福井県では、所得制限なしで「第2子以降の保育料無償化」や「高校授業料の実質無償化」を実施。特筆すべきは、国基準よりも踏み込んだ「多子世帯への集中的な支援」。「二人目、三人目を産みたいが経済的に不安」という現役世代のボトルネックに対し、県独自予算で明確な回答を示している。

また、共働き率が高い同県では、男性の育児休業取得促進奨励金など、企業に対する働きかけを強化している。特に、育休取得者の業務代替を行う従業員への手当を助成するなど、現場の負担感に配慮した「休みやすい職場づくり」への支援を行うなど、先進的な取り組みを行っていた。

★視察を終えて

視察した施設や政策は、それぞれ住民のニーズにマッチしており、「多世代共生のまちづくり」から「次世代育成のための包括的な支援体制」まで、持続可能な地域社会の実現に向けた先進的かつ具体的な成功事例を学ぶことができた。これらの知見を今後の議員活動に活かしていきたい。

報告の詳細はホームページで！



議会調査研究活動

小野市議会では、議会の審査機能の強化・政策提言能力の向上のため、議会として真に必要な調査・研究活動を見定め、調査研究活動を行っています。

議員派遣

令和7年12月23日に派遣議員から視察内容に関する報告を受け、議員間で情報共有を行いました。



派遣日：令和7年10月21日～22日

派遣先	内 容	派遣議員
①中東遠総合医療センター（静岡県掛川市） ②掛川市中部地域健康医療支援センター「中部ふくしあ」 ③公立西知多総合病院（愛知県東海市）	①持続可能な医療提供と病院経営の現状と課題について ②地域医療連携の現状と課題について ③地域完結型の医療体制について	掘井ひ代 村本洋子 河島三奈 山本悟朗 河島信行

各議員の報告書は、こちらから！



議員研修



令和7年10月29日に株式会社廣瀬行政研究所 廣瀬和彦様をお招きし、「議会機能の強化について」を演題としてご講義いただきました。

二元代表制において議員に期待される役割について改めて考える機会となりました。質問を通じて執行機関へのチェック機能を果たすこと、さらに政策提言を行うことの重要性を強く認識しました。また、質問を通じて施策の課題を見いだし、議会全体で政策形成へつなげていく方法等についても、ご教示いただきました。

